

第7回 境川かわまちづくり懇談会議事録（概要）

1 開催日時 令和5年3月27日（月） 14時00分～15時30分

2 開催場所 浦安市消防本部 3階多目的ホール

3 出席者

（学識者）2名

法政大学 陣内 秀信 特任教授

早稲田大学 創造理工学部 社会環境工学科 佐々木 葉 教授

（沿川自治会）代表者7名

第8区自治会、猫実四丁目自治会、堀江一丁目自治会、堀江三丁目自治会

猫実東自治会、潮音の街自治会、タイムレスタウン新浦安自治会

（関係団体）代表者7名

境川であそぼう実行委員会、浦安水辺の会、浦安市カヌー協会、ふるさと浦安かっぱ村
うらやす景観まちづくりフォーラム、みどりのネットワーク

一般社団法人浦安観光コンベンション協会

（河川管理者）1名

千葉県葛南土木事務所 調整課 永井主査

（事務局）9名

道路整備課 須賀課長、小泉課長補佐、千葉河川海岸係長、田中工務係長
竹内主任主事、岩楯主任主事、広瀬主任主事

商工観光課 米川主任主事

郷土博物館 島村副主幹

（事務局補助）4名

公益財団法人リバーフロント研究所 土屋、八町、利満、坂本

4 議 題

- (1) 前回の振り返り、進める会の開催概要
- (2) これまでの意見のまとめ
- (3) 境川かわまちづくりの「基本方針（素案）」
- (4) 質疑応答・全体討議
 テーマ 境川かわまちづくりの「基本方針」について
- (5) その他

5 会議経過

- (1) 前回の振り返り、進める会の開催概要
 前回の振り返りと進める会の開催概要として、令和4年度の懇談会及び境川かわまちを進める会について時系列に開催状況の説明を行った。
- (2) これまでの意見のまとめ
 これまでに開催された懇談会や進める会で作られた全ての意見を進める会のテーマ（「水・自然環境」「歴史・文化」「水辺・水面の利用」）や留意事項等に分類し、想定されるアウトカム毎に整理した資料について説明を行った。
- (3) 境川かわまちづくりの「基本方針（素案）」
 (2)でとりまとめた全意見を基に、市が作成した進める会のテーマ毎の基本方針（素案）について説明を行った。
- (4) 質疑応答・全体討議
 テーマ 境川かわまちづくりの「基本方針」について

質疑応答

Q. 新橋周辺の境川右岸に整備されたテラスと今回示された基本方針とはどのような関連性があるのか。本来、かわまちづくりでの議論を踏まえ整備されるべきではないか。

A. かわまちづくりと並行して、関連事業があらゆるところで進んでいる。今後、これまで以上に関連事業との連携を図り、かわまちづくりでの議論と個別事業に齟齬がないように努める。
--

基本方針（素案）及びテーマについての意見

水・自然環境

- ・「かつての境川の自然環境と生物の再生」という基本方針の表現自体は良いと思うが、「かつての境川」をどのように再生させるかが重要である。かつての境川を彷彿させる場所を作り、実際に原風景を体験できるような自然環境を作ることが重要である。
- ・新町地域の川沿いの道は整備されているが、鉄の階段の下に空き缶が捨てられている。掃除をしても空き缶が取れないことがあるので、見直して改善してほしい。

歴史・文化

- ・「浦安境川の魅力発信！—みんなに愛される境川へ—」という基本方針は、境川の「水辺」が強調された表現に感じる。「境川沿いの暮らしの魅力」などのように周辺の景観を含めた暮らしの魅力をPRしていけるような表現が良いのではないか。
- ・元町地域の原風景だけでなく、中町地域や新町地域の第1期埋立、第2期埋立も歴史だと思うので、そういった変遷も含めた魅力を示していくことが大事である。
- ・境川は、エリアごとに魅力が異なるため、境川の原風景を体験できる場所を作るのであれば、元町地域に作るべきではないか。
- ・アウトカムの「賑わいを」や「歩きやすく、歩きたくなる空間をつくる」は、水辺・水面利用の基本方針のアウトカムに移動しても良いと思う。
- ・愛着がキーワードとして出ているが、「自分たちが住むエリアは自分たちで良くする」という考えのもと、活動にあたっての費用を自分たちで負担することで出てくる地域への愛着もあると思う。
- ・漁師町時代の境川の魅力をアピールするためには、その時代の写真を境川沿いに掲示するのが良いと思う。
- ・昔の境川には漁師が海に行くための船道である漕（みお）があった。漕についても写真や解説でアピールすると中流域や下流域の魅力の発信にもなる。
- ・プランターに花を飾り、ところどころに昔の境川の写真を飾ることで歩くための魅力をつくる。人が歩くことで川への愛着、関心が強くなる。
- ・境川に来てくれた人のためにトイレがわかるようにしてほしい。
- ・元町地域において車がすれ違えないくらい狭い道路でスピードを出す車がいる。かわまちづくりで広くするとか、抜け道にならない方策などを考えてほしい。

水辺・水面の利用

- ・旧観光漁業基地用地に郷土博物館にある長屋のようなものがあり、そこに生け簀があり、東京湾から上がったものをそこで食べられるような仕掛けを作っていけばいいと思う。
- ・境川は、東京に隣接する都心にありながら、海にもつながっている水辺の環境があるというのは大きな魅力である。
- ・境川、見明川、江戸川、三番瀬があり、天気良ければ富士山、都会を象徴するディズニーランドのホテル街の景色も見える。カヌーの遊び場としては素晴らしい環境にある。
- ・境川が日常的に安全に利用でき、周辺の水辺を活用していける施設の整備を進めていきたい。

複数のテーマに関わるもの

- ・ 3つ基本方針（素案）は事業として一度に実施できるものでもない。例えば「水質改善をし、その状況を見ながら次の事業を考えていく」というようにテーマごとの連携についても考えていく必要がある。
- ・ 「水辺とまちづくりに関する基本方針」に関連計画におけるかわまちづくり計画の位置づけを記載することとなっている。都市計画や公園計画などは、かわまちづくりに非常に大きな影響を与える計画であるため、これらと連携を図っていくことを打ち出していくことが重要である。

学識者より講評

- ・ 歴史・文化の基本方針の「魅力発信」は、すでにわかっている魅力でなく、文化的アイデンティティを自分たちで改めて発掘し、皆で共通認識として持ち、その魅力を発信していくことだと思う。改めて発見する魅力を発信するという要素を入れるにはどうしたらよいか。そこから歴史や自慢、愛着というものが出てくる。
- ・ 3つの基本方針（素案）を束ねたキーワードのようなものがあったとしてもよいのではないかと。例えば「境川が背骨だとしたら見明川や三番瀬の干潟、あるいは東京湾が肋骨になる。」という記述があったが、素晴らしいフレーズだと思う。「浦安の背骨境川」のような大きいテーマの次に基本方針があるような構成にすると、各テーマの基本方針に「境川」と入れないまとめ方もできるのではないかと。
- ・ 魅力というのは全部に関わっている。歴史・文化だけ魅力があるのは論理的にも不自然である。自然も歴史も賑わいも魅力、それらが凌駕されて人々を引き付ける。

(5) その他

- ・ 今回の基本方針（素案）について皆様から意見をいただいたところで懇談会の役割は終了する。
- ・ 今回いただいた意見と両先生の講評を踏まえ、市で基本方針（素案）を修正し、次年度設立予定の協議会や進める会に引き継いでいくこととする。
- ・ 令和5年度からは、協議会と進める会の両輪で進めていくので、引き続き協力をお願いします。
- ・ 4月29日（土）・30日（日）の午前10時から午後4時に総合公園で行う市民まつり・植木まつりで「境川かわまちづくり」のブースを出展するので、都合が合う方は立ち寄りをお願いします。
- ・ 全7回にわたる懇談会へのご出席有難うございました。

開催状況写真



懇談会 開催状況



懇談会 開催状況



懇談会 開催状況



記念撮影